

GRAZIE

“グラッツェ”

“グラッツェ”とはイタリア語で“ありがとう”の意味。陽気なラテン民族の言葉に倣って、素直に感謝の言葉を口にできる明るい場作りを、本学科は心がけています。

特集

海外認定
留学体験
ストーリーこれが
私の留学体験！Let's go
abroad
to study!

学科が提携している海外学術交流提携校は現在8カ国25校(2013年2月現在)。留学条件を満たした学生さん達が毎年次々と、学科から世界へ羽ばたいています。

そこで今号では、海外認定留学体験後の実録インタビューをご紹介します。実際のところどうなのよ、という数々の疑問にお答えします！



「一口に“ホームステイ”とはいっても事情はいろいろ。最初訪ねた家は3人の子持ちシングルマザーのお宅でした。あつたが家庭をイメージして行ったのですが、実際は居候のような形で留学生活がスタートしたので、もうそこで覚悟を決めました。笑」

明るく話してくれたのは、オーストラリアのクイーンズランド工科大学で8ヶ月の留学生活を終えてきた岡本侑香里さん。留学を目的に本学科に入学、留学先はなるべく日本人が少ないところを基準に選んだ。

「休日にも家族の中に一人赤の他人の私が交じってお出かけ。そしてという事情があったのかわからないのですが、8ヶ月後には家族全員が突然引っ越しをし（私だけが元の家

に住む事態になり）、いろんな意味で鍛えられました。笑。次に滞在したお宅は70代のおばあちゃんが切り盛りする家。中国人3人とスリランカ人1人と台湾人1人がおばあちゃんを中心に共同生活をするという、まるで毎日が合宿のような暮らし。シャワーは6分までねとか、2日に1度でもいいんじゃない？とか、基本的な生活習慣は厳しい部分もありましたが、留学生のためにおばあちゃんはお弁当用のアフィンを一生涯懸命作ってくれたり、休日には同居の子たちとお出かけをしたり、なかなか楽しい生活となりました」

学校の授業はいつもディスカッションが中心。まだボキャブラリーが少なく、どう表現をしていいかわからなかった岡本さんは、とにかく“電子辞書”が手放せない毎日だった。



ことあるごとに先生から「どう思う?」「あなたの意見は?」と訊かれる授業は大変中味が濃く、一週間ごとに変わるテーマに対する英語でのプレゼンテーション用の自分の意見をまとめながら、自分の中にしっかりした“芯”ができてくるのを感じ取ったという。

「政治にしても文化にしても、授業では“あなたはどの何者か?”ということをお願いだされるお題を常に与えられるんです。そういう意味では、私にとっての留学は、『英語力をつけた』よりもむしろ、『自分自身をより理解した』『自信をつけた』『将来に対する方向性が定まった』機会だった気がします。クラスが一つ上にあがると二倍三倍に難しくなりましたが、本当にこれまでの人生で一番真剣に勉強したといっても過言ではありません。笑」

ある時なげなく先生に「why? (なぜ?)」と訊ねた。するとそれだけのことに先生は身を乗り出してきて、「あなたのその『why?』、先生とても好きだわ!!」と言った。思えば今までたいてい「why?」と考えずに生きていた。けれどちゃんと自分で一つ一つ「why?」を考えるようになった時、フラフラして周りの意見に流されてばかりいた自分はいなくなっていた。というのが岡本さんの物語。

「留学しているその時は目の前のことに必死だから、自分じゃたいして変わっていないと思っている。でもその変化に思い切り気付くのは帰国後。自分に“核”ができていて、ブレない自分がいるんです。これは驚きでした!笑」

シャイにならないで、ラフな気持ちでフレンドリーにやっていれば留学生活は必ず楽しいものになるから、みんなにももっとプライドを持ってどんどん海外に出て行って欲しいなと語る岡本さん。大変だったことをくぐり抜けたからこそ授かることができた“自信”が、彼女の笑顔をより輝かせていた。



「私、父の仕事の関係で幼少期に2年間、アメリカにいたことがあるんです。ディズニーが大好きで、ライオンキングの鞆や、ディズニーキャラクターの水着もその時に買ってもらいました。で、日本に戻って小学校に入った時、自分はそのお気に入りグッズを学校に持っていったわけですが、他の子は全員真っ赤なランドセル。そして、水泳の時間はみんな揃って紺のスクール水着でした」

「あの時は、自分だけが違っていることが顔が

ら火が出るほど恥ずかしくて、結局母にみんなと同じものを買ってもらったのですが、今回半期での海外認定留学を終えて戻ってきたら、もっと自由になっていいんだよね、って、人になんと思われるかは、あんまり気にならなくなりました」

松山晃子さんはカナダ・トロントのヨーク大学に3年生の時に留学。

学校から1時間のところで、まだ30代のシングルホストマザー+犬2匹と一緒に暮らし、大学に通っていた。

「マザーも若いからお姉さんのよう。広い自宅の4部屋を留学生に貸し出していました。最初は私一人でしたが、そのうちロシア人女子と中国人男子が入ってきて、4人で暮らしました。食事ですか? 一緒に食べることはあまりなく、ホストマザーが週末にまとめて食事を作ってタッパーに詰めておいてくれるので、各自それを好きな時間に食べます。マザーは気さくな人で、気が向けば映画一緒に観ない? って誘ってくれました。だからホームステイとはいっても、友達複数人と同居生活をしているっていう感じでしたね」

一日の生活は、9時くらいにマザーが仕事に出て行って、松山さんはシリアルやバナナを食べた後10時に出発。交通がスムーズにいけば11時に大学に到着するので、そのままフードコートで友達と雑談したり、予習をしたりして、13時過ぎ15分に授業がスタート。17時15分

まで緊張感のある授業を受け、放課後はヨーク大学の本科生とともに、宿題をしたり、サッカーを観たり。

19時過ぎに帰宅した後は、夕食を食べて90分で宿題を片付け、ネットを覗いて就寝23時。そんな生活を週に5日繰り返し、土日は大学で知り合った、趣味の合うコロンビア人の女の子と一緒に買い物へ行ったり、ホストマザーに誘ってもらったホームパーティーで楽しんだりしていたのだそう。

「とにかく楽しくて仕方がなかったです。後半の4ヶ月は、バス会社のストライキで、大学への往復に4時間(笑)、運転が荒く、時間通りに来ず、立ちっぱなしだったのでもったったですが、大変だったのはそのくらい。要領のいい同居ロシア人女子に使われちゃってると思ったこともありましたが、それもご愛敬に。全体の楽しさから言ったら、どれも取るに足りないことでした」

ずっと『みんなと一緒にじゃないといけないんだな』と、どこか押さえ気味に過ごしてきた松山さんを『もっと自由にしたいんだな』『自分の意思を言いたいんだな』に変えた海外認定留学。



「これからもっと勉強して、英語に関わる仕事に就きたいなと思っています。カナダの専門学校でホテルマネージメントの勉強もいいな、と。笑」

後に続く後輩に伝えたいことは？と尋ねると、松山さんはこう答えてくれた。

「現地に行ってしまうと、身振り手振りでも通

じるもの。コンプレックスを抱く必要も、喋れないことを不安に思う必要もなく、ただ重要なのは“トライする気持ち”。それさえあれば、素敵な留学生活を体験できますよ」



高校2年生の時に学校にやってきた中国人留学生と親しくなり「いつか自分が中国語を話せる側になりたいなあ」と漠然とした夢を描いていた屋我伸枝さん。

ハルビン市にある黒龍江大学に留学を決めたきっかけも、特に深い理由があったわけではなかった。

「大学に入学してしてから、なぜかいつも英語より中国語の方が点が良かったんです。それでももしかしたら相性がいいのかもしれないと思い、留学前は簡単な自己紹介程度しかできなかったのですが、友達が『黒龍江大学はいい大学だよ』と背中を押してくれたこともあって、すぐに半期の留学を決めました。笑。大学のサポートも万全だし、自分を変えたいという気持ちもあったので、逆にあまり深く考えなかったのが良かったのかも」

屋我さんは沖縄出身。

実家の気温20度の世界から、中国大陸のマイナス20度の世界へ。黒龍江大学では、教室から30秒のところにある付属の寮（ユニットバス付き、勉強机あり、2人部屋を1人使用で月3万円）にお世話になった。

「男子と女子が入り交じって暮らす不思議な寮で、笑、でも掃除も係の人が毎日してくれる

ので、とても快適でした。メンバーは韓国人、ロシア人、キルギス人、カザフ人、モンゴル人などなど。

大変だったと感じたのは、まったく言葉が出てこなかった最初の1週間。あとは韓国人の子とお友達になり、分からない単語を英語で伝え中国語で教えてもらいながら、一気にボキャブラリーを増やしました。授業は午前中だけなので、午後2時間くらいかけて宿題をこなし、そのまま友達と夕食へ。大学の門の外に並ぶ食堂で300円くらいのお腹一杯ご飯を食べ、夜は夜でみんなの部屋へ遊びに行き、毎日とても楽しかった。テレビのスポーツ観戦をしながら、私が『ニッポン、チャチャチャ！』とやると、韓国人の子が『テーハミング（大韓民国）、チャチャチャ！』笑。日々お祭りみたいでした。」

授業は、先生1人に対して25名くらいで行う日本と同じスタイル。レベルは4段階あり、屋我さんは半期で初級から中級までを勉強した。大学の日本語学科の学生との交流も盛んで、交流イベントに呼ばれて一緒にカラオケをやったり、“互学（フーシュエ）”というシステムで、現地人学生に勉強を見てもらったりしながら、語学力は新聞を読めるほどにアップ。時間も日本のような90分制ではなく、45分＋休憩の繰り返しで一日5コマ。テンポがいいので眠くなることもなく、非常に効率的にシャキッとした気分で勉強に集中できたのだそう。



ができないわけですが、やっぱりショックですよね。でもそれにゆけることなく、自分なりの親切心で対応してイメージを払拭する努力ができませんでした」

そういう出来事をきっかけに、屋我さんは帰国後、実際に中国に留学したことのある日本人に、アンケートを取った。『中国に対して持っていた印象は、滞在前と後で変わりましたか？』との問いに、全員が『良い方に変わった』と。

「滞在前はテレビ報道を鵜呑みにしていたけれど、実際、メディアで言われている反日行動は一部の人次だけだったんだなあ、行って初めてわかりました。日本語学科の子たちは、日本のアニメや歴史を私たちの何倍も良く知っていて、本当にみんな友好的でした」。

時に洋服屋さんや食堂でボラれることがあったとしても、韓国人の友達の値段交渉のやり方を見て真似て、自分もできるようになりましたと明るく語る屋我さん。卒業してからの予定は、中国人観光客が増えている沖縄に戻って、語学を活かした仕事に就くこと。



「現地に行ってから日本にいる間にもっとやってあげた良かったなと思うのは、自分の国・ニッポンの勉強でした。伊藤博文がハルビンで暗殺されたのを知ったのも、現地に行ってから。タクシーなどに乗れば、『私の祖父は日本軍に殺されたんだよ』と話題を出される時もあり、そう言われても私は当時生まれてもいないので黙り返むことし

「海外認定留学に出たことで、日本の平和を再実感しました。視野が広がったことは何にも代え難い体験です」。

日中関係を良くしたいなと目を細める屋我さんはこんな言葉を残した。

「中国語は就職活動にもとっても有利。でもそれだけじゃない、中国語って音だけ聞いているとまったく感じられなく、行ってみるとみんな本当に優しいんです。ラフでおおらかな性格の人ならば、私と同じように絶対に中国との相性がいいはず。素敵な留学ができます！」

海外認定留学



Q ここでの海外認定留学は、語学留学ってこと？

A はい、そうです。大まかに言って留学には“正規留学”と“語学留学”の二種類があります。“正規留学”は海外の大学や大学院を卒業することを目的としているのでそれ相応の語学力が入学時に必要ですが、“語学留学”はいわばその前段階。語学を習得することそのものを目的とした授業を受けに行く留学です。

Q 海外学術交流提携校はどうやって選ばれているの？

A 大切な学生さんにご紹介できるだけのバックグラウンドがあるかどうかを、事前に教職員が厳密に精査した上で決められています。留学生の受け入れ経験が豊富かどうか、親日的なスタッフがいるかどうか、安心できる学習環境が整っているなどを判断基準に、選定しています。

Q 半期とか通年ってなに？ ちなみにその期間は留学先によって違いがあるの？

A 15週以上の留学が半期（前期または後期）、30週以上の留学を通年（一年）と呼びます。そしてその期間が何週に及ぶかはそれぞれの学校によります。例えば、米国・カナダ・アイルランド・オーストラリア・ニュージーランドでは通年が30～33週（半期が15～20週）に対し、中国・台湾では通年32～44週（半期18～20週）と比較的長く、英国は半期のみ（15～16週）となっています。

Q 日本を不在にしていた分、卒業が遅れるの？

A 学科では留学期間中の授業を、ある一定の成績に達していることを条件にそのまま明星大学での単位として認定するシステムを採用していますので、卒業が遅れることはありません。

Q 授業料は明星大学の分と現地での留学分が二重にかかるの？

A いえ、かかりません。明星大学は、留学期間中に本学にかかる学費の一部を学生の皆様に奨学金として支給させて頂きますので、差し引き分のみを支払って頂くことになります。

Q 国によって宿泊スタイルが違ってくみたいですけど？

A はい、宿泊先はホームステイ、大学寮の2種に分かれますが、傾向としては、米国は大学寮、カナダ・英国・アイルランド・オーストラリア・ニュージーランドはホームステイ（ただしカナダの一部の大学は夏期のみ寮も可能）、中国は大学寮が主流です。

Q 一番気になるのが費用のことですが、実際どうなのでしょう？

A 実際には往復の航空運賃、ビザ取得、海外留学保険、申し込み手数料など諸々の諸経費が留学先によってかなり違うほか、為替の変動もあるので、一概には単純比較できない（ここでの比較がそのまま総留学費用に比例するとは限らない）のですが、とりあえずここでは、行き先別にみてみましょう。

Q 明星大学国際コミュニケーション学科の海

外学術交流提携校を、具体的に教えて下さい。

A 以下の一覧を御覧下さい。

■ およそ16週（4ヶ月）の半期留学をした場合の授業料と滞在費の推定

表内数値は2012年度費用を基に算定。下記費用の他に別途、航空運賃、ビザ取得料、任意海外保険、申込手数料などが掛かります。

留学先	授業料	滞在費
米国留学 (大学寮)	約38万～58万	約33万～62万(2食または3食、食事なしのケースも含む)
カナダ留学 (ホームステイ)	約52万～71万	約30万～35万(2食または3食付き)
英国留学 (ホームステイ)	約37万～48万	約27万～31万(2食付き)
アイルランド留学 (大学寮)	約44万	約37万(食事なし)
オーストラリア留学 (ホームステイ)	約53万～73万	約40万～43万(2食または3食付き)
ニュージーランド留学 (ホームステイ)	約55万	約31万(3食付き)
中国留学(大学寮)	約10万～14万	約9万～14万

(為替レートは、2013年2月現在の1USD=94円、1CAD=95円、1GBP=145円、1EUR=125円、1AUD=97円、1NZD=80円、1人民元=15円、1台湾ドル=3円で計算しています)

海外学術交流提携校

国名	留学先大学名	所在地
アメリカ	ミシシッピ州立大学(州立)	ミシシッピ州 スタークビル
	モンタナ大学(州立)	モンタナ州 ミズーラ
	オレゴン州立大学(州立)	オレゴン州 コーバリス
	オーローニカレッジ(州立)	カリフォルニア州 フリーモント
	ウエスタンミシガン大学(州立)	ミシガン州 カラマズー
	ウィスコンシン大学ミルウォーキー校(州立)	ウィスコンシン州 ミルウォーキー
カナダ	オハイオ大学(州立)	オハイオ州 アセンズ
	トロント大学(州立)	オンタリオ州 トロント
	ヨーク大学(州立)	オンタリオ州 トロント
	ブリテッシュ・コロンビア大学(州立)	ブリテッシュ・コロンビア州 バンクーバー
イギリス	ビクトリア大学(州立)	ブリテッシュ・コロンビア州 バンクーバー
	グロスタシャ大学(国立)	グロスタシャ州 チェルトナム
	チチェスターカレッジ(国立)	ウエストサセックス
	サセックスダウンズカレッジ(国立)	イーストサセックス
アイルランド	リムリック大学(国立)	リムリック
オーストラリア	フリンダーズ大学(州立)	南オーストラリア州 アデレード
	マッコーリー大学(州立)	ニューサウスウェールズ州 シドニー
	クイーンズランド工科大学(州立)	クイーンズランド州 ブリスベン
ニュージーランド	マッセイ大学(国立)	パーマストンノース
	ハルビン師範大学(国立)	ハルビン市
	黒龍江大学(国立)	ハルビン市
	青島大学(国立)	青島市
	上海師範大学(国立)	上海市
中国	西南大学(国立)	重慶市
	文藻外語学院(私立)	高雄市
台湾	文藻外語学院(私立)	高雄市

みなさんもよく吟味して、一生にそうあることのない海外認定留学をぜひ、成功させて下さいね！

Wanted

学生編集スタッフ募集中！

将来マスコミの仕事をしたい人、またはイラストなどで自己表現をしたい人、記事を書きたい人など常時募集中。企画段階から実際に形にいくまで、全てを自分で体験できるので、とてもやりがいがありますよ。積極的な参加をお待ちしています。

これは是非載せて欲しい！の記事&情報大募集

“GRAZIE”は、学生のみならずと作っていくメディアです。より充実した内容にしていけるために、どんな些細なことでもネタをお待ちしています。

〔応募先〕〒191-8506 東京都日野市程久保2-1-1明星大学国際コミュニケーション学科
Tel 042-591-5329またはinfo-com@eleal.meisei-u.ac.jpまで

「編集スタッフの眩き」

20代のうちに広い世界を見ておくことは一生の財産。なぜって自分の価値観が何倍にも広がるから。たった半年でも見違えるようにしっかりした人になってしまうのが、留学体験の魔法。教員職員一同何がウレシイって、そんな人の成長を間近で見られることです。■Y